

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2770801450		
法人名	アミコ株式会社		
事業所名	アミライフ・東住吉 (2階)		
所在地	大阪市東住吉区住道矢田6丁目2-24		
自己評価作成日	2014/12/15	評価結果市町村受理日	平成27年3月24日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/27/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kan=true&JigyosyoCd=2770801450-00&PrefCd=27&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル		
訪問調査日	平成27年1月14日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今までの生き方を尊重し、集団生活ではあるがその方のその方らしい生活が出来るよう支援している。又、家族様が好きな時に気兼ねなく来られるような家庭的な雰囲気である。食事前には、毎日、体操をするようにしており、地域包括の方からもよい評価を受けた。毎日の生活の中でその人が出来る事をさせていただき、特別なリハビリではなく生活リハビリを主として自立支援に繋がるように職員一同がんばっている。また、地域密着ということもあり大変ご近所の方が多い。その為、入居者様を自宅へ外出するのに介助したり、入院になった際も、ご家族を迎えに行き病院まで送り迎えもしたりしています。地域のお祭りや消防訓練などにも利用者様とご家族と職員で参加したりすることもよくあります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当該ホームでは法人理念の基「人と人とのつきあい」をホームのモットーに掲げ、利用者のこれまでのつながりはもちろん新たな人とのつながりを大切にしながら職員は笑顔絶やさず日々の支援にあたっています。地域とのつきあいにおいても地域の利用者が多く外出先で懐かしい知人に出会ったり、友人が訪ねて来たり、また自治会の夏祭りや敬老会、消防訓練等の行事への参加や近くの障害者施設との交流、ボランティアや実習生の受け入れ等を通して様々な交流が図られています。職員は日々の申し送りや月1回の職員会議にとどまらず、疑問に思った事や意見があればその都度職員間でも話し合い、情報を共有しながら利用者の思いにそった支援となるようチーム一丸となって取り組んでいます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔」「信愛」「憩い」を理念とし、人と人とのつきあいをモットーとしている。又、職員が常に共有できるよう、リビングのTV横に掲げ実践につながるよう努めている。	法人の理念である「笑顔」「親愛」「憩い」を基にホーム独自のモットーである「人と人とのつきあい」を掲げ、管理者は申し送りや会議の中で理念についての話し、常に笑顔で接する事を伝えています。また利用者のこれまでのつながりや新しいあらゆるつながりを大切に家族、地域の方も含め利用者に向けた支援となるよう取り組んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	季節の催し「夏祭」「敬老会」に参加し、地域との交流を続けている。	地域の夏祭りや敬老会、消防訓練への参加や町会長の紹介でふれあい喫茶に行ったり、日々の散歩や買物を通して地域の方との交流を図っています。また、近くの障害者施設の行事や大学での勉強会の案内をもらい参加したり、ボランティアや大学生の実習などの受け入れも行っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の消防訓練などに参加し地下ポンプの使い方などを教えてもらい近隣の知的障害者施設と協力しあえるよう意見交換をしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一度会議を行い情報交換をしている。	会議は2ヶ月に1回開催され、家族や町会長、女性部長、地域包括支援センター職員等の参加を得ています。ホームの活動報告や事故報告を行い参加者と意見交換をしています。また地域の情報ももらったり、自治会の高齢化を受け地域で火災があった際にはホース運びなどホームからも手伝える事など伝えたり有意義な話し合いが行われています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	東住吉区GH連絡会や東住吉区の講習会に参加したり、わからないことがあれば直接介護保険課に聞きに行ったりしている。	書類や報告書の提出等わからない事があれば管理者は直接介護保険課の窓口に行き聞くようにしています。また地域密着型サービス事業所の連絡会を通して行政との関わりを持つ事もあります。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修を受けた職員が会議で報告をし、全員で学ぶ機会を設けている。又、玄関は安全確保が出来る場合は施錠しないよう努めている。施錠している場合でも外出の希望がある利用者様には職員が付き添い自由に行動出来るようにしている。	身体拘束に関する法人の内部研修を受講した職員がホームの会議で伝達を行い周知を図っています。日々の言葉かけについても利用者の行動を止めてしまわないよう管理者から職員に伝えています。ユニットの入り口の施錠については、解錠できるよう話し合いを持ち午前中など限られた時間で1階のデイサービスと連携しながら徐々に取り組んでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての研修を受けた職員が会議で報告し全員で学ぶ機会を設けている。特に何気ないように思われる言葉の暴力については日頃からよく話し合っている。		

グループホームアミライフ・東住吉(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、後見人制度やあんしんサポートを利用されている方がおられ管理者が利用の経緯を説明してもらっている。その際、不明な点があれば会議等で学んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、退居時には書類を掲示しながら説明を行っており特に必要な箇所には時間をかけて補足している。不明な点は電話での問い合わせにも応じている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	普段の面会時はもちろん、年に数回の行事のたびに家族様が来られている。その際に、直接要望を聞くと共に意見箱を設置し家族様の心の声も逃さないようにしている。又、要望意見等があればその都度職員全員で共有し改善できるよう取り組んでいる。	家族の面会も多く、利用者の近況を伝えながら家族の意見や要望を聞いています。面会に来られない家族に関しては電話で聞いています。個人的な意見が多い状況ですが得られた意見については記録し、職員間で共有し検討しています。食事量についての意見があった場合は摂取量や水分量、嚥下状態等を伝えるようにしています。また年に1回のアンケートも実施しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月会議を開き話し合いの場を設けている。意見提案のある職員は会議前に議題を上げ皆で考え実践している。次月に再度見直しをし改善点をみつけていくようにしている。会議の進行は職員が順番に行い皆が積極的に参加することが出来る。	月に1回ほぼ全員が参加するユニット合同のホーム会議を行っており、カンファレンスや行事、業務についての話し合いを行っています。職員は司会と書記の担当を持ち回り、事前に職員からの議題を収集して決定し、積極的に会議で意見交換ができるよう取り組んでいます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	一人一人に対してヒアリングをし、勤務時間、勤務状況など相談している。パートから正社員になる様努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	様々な研修を行い職員が参加し会議で報告し皆で学んでいる。又、資料があれば必ず目を通すように伝えている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	定期的に他事業所の見学会があり参加している。他の施設を知ることにより改めて自分の施設の至らないところがわかり、勉強になっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面談時の際、本人様の言葉はもちろん態度、様子から心的心声を察し不安なこと、困っている等と一緒に共有するようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	離れて暮らすことへの不安、大切な家族がどのような生活を送ってほしいのか等の要望を受け止め安心して頂けるような声かけと今後の対応を話し合っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現在の本人様の家族様の状況を的確に見極め今はどうすることが最善であるかを考え対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「出来ることは自分でする」を尊重し料理、掃除、洗濯買い物等皆で協力し合って毎日を暮らしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時等で家族様に今の状況を伝え、困った事、問題点があれば一緒に考え、悩み、より良い対応策を模索している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族様からの情報はもちろん本人様の会話から「行きたい所」「会いたい人」を察し、希望が叶うようにしている。	散歩や買物、地域行事の参加を通して懐かしい知人に出会ったり、ホームに友人の訪問があります。家族の協力を得て外食や墓参り等の準備の支援をしています。また日々の利用者との関わりの中で利用者の言葉から行きたいところや会いたい人に関して聞く機会があり、その実現に向けて取り組めるように努めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	対スタッフではなく、常に数人の利用者様を交えて話をするように心がけている。又、居室に閉じこもりがちな利用者様にも体調、気分が良ければフロアに出てきてもらい話の輪に入ってもらえるようにしている。		

グループホームアミライフ・東住吉(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された方のご家族様にも年賀状、暑中見舞いなども送っている。入院された方に対しても可能な限りお見舞いに行くなどこれまでの関係を大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の会話や態度、様子から「したいこと」「してほしいこと」「困っていること」を察するようにしている。	入居時に本人や家族から好きなことや希望等を聞いて意向を把握しています。入居後の利用者の言動から得た情報は、生活記録に残しカンファレンスで本人本位に話し合っています。またアセスメント用紙にも思いを記入でき、その情報を職員間で共有しながら思いや意向の把握に繋げています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	面談時に本人様家族様ケアマネより現在の生活歴や暮らし方などの情報を収集し、職員間で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方(食事、排泄、心身状態)を詳細に生活記録に記入している。職員は常に目を通し小さな変化も見逃さないようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様や家族の意向主治医の意見を基に、職員間で話し合いにケアプランを作成している。三ヶ月毎にモニタリングを行い現状の把握に努めている。ケアプランの見直しは基本六ヶ月毎に行っており、状況に変化があれば、随時職員会議をし情報を共有している。	利用者の思い、家族の意見を基に介護計画が作成され、6ヶ月毎を基本に見直しています。3ヶ月毎に計画の評価や再アセスメントを行い、サービス担当者会議を開催して見直しています。受診時の主治医とのやりとりノートや看護師の意見により、必要があれば医療情報を計画に反映するようにしています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、当日出勤している職員が記入している。時間帯決めてその日の様子や気付いた点を観察し、その場にはいない職員にも伝わるようわかりやすく記入している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出、外泊その他希望があれば本人様や家族様と相談し、実践できるようにしている。		

グループホームアミライフ・東住吉(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	毎月、地域のボランティアさんによる歌謡ショーがあり楽しみにされている。地域の夏祭りや敬老会にも参加している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週に2回医師に診てもらっている。急変時にもすぐに診療を受けることが出来対応が遅れる事はない。	これまでのかかりつけ医を継続している利用者もおり往診に来てもらっています。ホームの協力医による2週間に1回の往診があり24時間連絡可能な体制を取っています。週1回の訪問看護による健康管理を受けています。また週1回の歯科の往診や眼科の往診も受けられる体制が取られ、その他の受診についてはホームで対応しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週、看護師に診てもらっている。その際、利用者さんの状態のみならず日常生活を送るうえでの注意点などを聞くことが出来ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係	定期的に面会に行き、不安な気持ちを軽減してもらおうようにしている。又、本人様の状態について家族様と主治医との連絡調整を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者さんに前もって終末期の希望を確認している。	入居時に常時医療が必要になった場合や食事の経口摂取が出来なくなった場合はホームでの支援が出来ない事を伝えてあります。これまでに思いにそって看取りの支援をした経験があり、主治医、家族との連携の重要性や職員の研修の必要性等様々な課題が見え今後活かしたいと考えています。現在法人での体制の整備が進められています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の連絡先、手順を常に見える所に提示し速やかに対応することが出来る。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回在席しているスタッフ、利用者全員で避難訓練をしている。	消防訓練は年に2回実施され1回は消防署から来てもらい、1回はホーム独自で行っています。訓練は昼間と夜間を想定して行い、ホームが2階と3階になる為避難方法のアドバイスを消防署からもらっています。ホームから地域の消防訓練に参加し、地域で火災があれば職員が手伝える事も伝えていますが、ホームへの協力の働きかけが不十分な状況です。	ホームからの協力について地域に伝えてありますので運営推進会議での話し合いの中で参加者に協力を求めたり、挨拶等を通して近所の方への声掛けを行ってはいかがでしょうか。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として常に接するよう心がけている。ふさわしくない場面がある際は会議で取り上げ、スタッフ皆で改善を目指す。	言葉掛けについては家庭的な雰囲気を大切に敬語にとらわれず、フランクになり過ぎず心地の良い言葉掛けに努めています。不適切な場面が見られた場合は会議で話し合いを持ったり、管理者等から申し送りの場所や記録物の出しばなし、トイレ介助の際の声の大きさ等に配慮し、利用者一人ひとりを尊重した対応を常に心掛けています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	まず利用者さんの意見を聞き入れる。急がず、利用者さんの希望が聞けるよう対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合を優先しない事を常に念頭に置いている。体調により食事や入浴の時間をずらしたり、時にはお部屋一人でゆっくり過ごして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時や入浴の際、ご自身で洋服を選ぶことが出来ない方には実際見てもらったり言葉で説明(目の不自由な方)し、自己決定してもらう。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備後片付けは声をかけながら利用者さんとしている。又、食事時、スタッフも一緒に頂き会話を楽しんでいる。季節感を味わう為、花見弁当、クリスマスメニュー等を取り入れたり年に一回、外食もしている。	栄養士が立てた献立にそって業者から食材が届きますが、メニューによってはホットプレートを利用したり、出来るだけ工夫して調理し、月1回は利用者の希望を聞いて食べたい物を取り入れています。利用者には調理や後片付け等出来る事に声掛けをしながら携わってもらい、職員は朝昼夕食とも一緒に同じ食事を食事ととり、談笑したり食事介助をし食事が楽しめるよう支援しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の食事量や形態をスタッフが周知し提供している。又、必要な水分が摂れるように日中常にチェックを入れ不足分を無理なく確保出来るようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後歯磨きをしてもらっている。磨き残しのある方には、スタッフが再度磨き直しをしている。		

グループホームアミライフ・東住吉(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握しトイレの声かけや誘導をしている。夜間は安眠の為に おむつを使用する等その方に合わせた支援をしている。	トイレでの排泄を基本とし、利用者全員の排泄記録を取り、パターンの把握をして声を掛け、トイレ誘導する事によって失敗を防ぐように支援しています。利用者一人ひとりの希望や状態に合った下着の形態や夜間の支援の方法について職員間で話し合い出来るだけ自立に向かうよう取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝朝食時にヨーグルトを提供している。又、排便が遠のいている利用者様には起床後牛乳を提供している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は週2回で午後と決まっているが本人の希望によっては回数を増やしたり入浴日を先送りする等、利用者様の希望を優先している。	入浴は週に2回以上利用者の希望に合わせて午後から支援し、一人ひとりゆっくり入ってもらえるように時間をかけて対応しています。入浴拒否のある方には無理強いないように声掛けの時間帯を変えタイミングをはかったり、職員を替えて入浴につなげるように工夫しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中帯起きている事がつらい方には、居室で臥床出来るよう声かけを随時行う。又、夜間覚醒され眠ることが出来ない方には職員が話し相手になり不安な気持ちにないようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	生活記録に各利用者さまの薬の説明用紙を挟んでおり、いつでも見ることが出来るようになっている。又、服薬時には二人以上のスタッフで確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人の好きなこと楽しいこと出来ること等を日々の会話から探り、皆で共有している。又、実践できるように話し合う機会を設けている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気のいい日にはほぼ毎日散歩している。又、季節感を味わう為、近くの公園に外食もかねて花見に行った。あり利用者さんは家族様同伴で食事に行かれたり、お墓参りに行かれたりと家族水入らずで楽しい時間を過ごしておられる。	日常的におやつや足りない物等の買い物や散歩に出掛けたり、玄関前でお茶を飲み外気浴をしています。長居公園や道明寺などに花見に出掛け季節を感じてもらっています。また、希望の理髪店の送迎を支援したり、家族の協力を得て喫茶店や外食、ドライブ、墓参り等にも出掛けています。	

グループホームアミライフ・東住吉(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	好物のお菓子にお金を使われている利用者さんがおられる。糖尿病がありあまり食べ過ぎることは良くない状態。お菓子は職員側で預かり、欲しいと言われたときに少しずつ渡している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族様と電話がしたいを要望があれば聞き入れ、楽しみまたは安心してもらっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	皆さんで普段過ごしておられる所は窓が大きく日当たりも良く一年中明るい外の騒音もほとんど聞こえず静かに過ごすことが出来る。	壁には季節毎に作成された利用者の作品や習字の作品、行事の写真が飾られています。リビングは食卓と別にソファークーナーがあり、その他椅子やベンチを設置し寛げるスペースが確保されています。図書コーナーを設けたり、家庭的な家具を設置し、温かみのある照明で家庭的な雰囲気となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食卓椅子とは別にTV前にソファを置き誰でも好きな時に座ることが出来る。一人で座ってTVを見たり、気の合う同士で楽しくお話しをされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使っておられたタンスや思い出の写真を居室において住み慣れた家庭に近い状態で過ごしてもらっている。又、居室内で動きやすいよう利用者様の希望を聞きながら家具の配置をしている。	居室は洗面台とタンスが備え付けられています。入居前より使っていた家具や馴染みの物を持って来てもらうよう伝え、化粧箱や時計、アルバム、置物等を置いたり絵を飾っている方もいます。また家族の写真を飾り安心して過ごせるようにしたり、趣味の編み物を持ち込む等みその人らしい居室作りをしています。希望があれば畳を敷いて布団で休む事も可能です。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ内や壁に手すりを設置し、出来る範囲内での自立を目指している。又、トイレの場所がわからない方には目立ったところにトイレの表示をしたり、目が見えにくい方には大ききや色を工夫してわかりやすくしている。		